

▼ 6月9日  
伊予高生が海岸清掃



海水浴シーズンを前に海岸をきれいにしようと、伊予高生が放課後に北黒田海岸の清掃を行いました。清掃は1、2年生の自由参加でしたが、海岸には200人を越える生徒が集まりました。

大人数での作業になったこともあり、1時間あまりで80袋のごみを拾うことができました。すっきりきれいになった海岸に、参加した生徒たちは充実感を感じているようでした。

▼ 5月27日  
秋の収穫が楽しみだね



小富士保育所の園児と伊予高校の3年生が、芋づるを植えました。畑に水たまりがあったこの日、「どろんこかいじゅうになりましょう」の園長先生の声で、参加した43人の園児と24人の生徒は裸足になって畑へ。園児たちは、お兄さんやお姉さんにしっかりつかまって、じゅるじゅるの畑を歩いて、種芋を丁寧に植えていきました。大きなお芋がたくさんできますように。

▼ 5月26日  
新鮮な魚に思わずにっこり



瀬戸内海の新鮮な海の幸を満喫してもらおうと、松前遊漁船組合（三好一榮代表）が、和楽園にハマチ、アジやホゴなど約50キログラムを贈りました。

贈られたのは、当日の朝に組合員が松山沖で釣ったばかりの魚で、入所者の皆さんは、その種類と数の多さに驚いていました。魚は刺し身や煮付けなどにして、皆さんでおいしく食べたそうです。

▼ 5月12日  
自転車の安全運転利用を呼び掛け



エミフル MASAKI で、自転車安全運転利用キャンペーンが行われました。

このキャンペーンは、自転車を安全に利用してもらおうと、5月の自転車月間にあわせて、伊予地区自転車商組合が実施したものです。自転車で買い物に来ていた家族連れなどに、自転車の無料点検と啓発チラシの配布が行われ、自転車の安全運転利用を呼びかけました。

▼ 6月16日  
田植え体験で農業を学ぶ



岡田小学校の5年生が、社会科の授業の一環として、小学校の近くの水田で田植えをしました。

最初は戸惑い、不慣れな手つきで植えていた児童たちでしたが、徐々に上手になり、終わるころには「もっとやりたい」と田植えを楽しんでいました。

5年1組の星加将太くんは「田植えは今日が初めてです。こんなに楽しいなら大人になっても田植えをしたいです」と笑顔で話していました。

▼ 5月29日  
みんなで応援 愛媛FC



松山広域デーの愛媛FC対ヴァンフォーレ甲府戦に、サポーター1万630人が集結しました。試合前には、6市町対抗のリレーが行われるなど、オレンジ色のニンジニアスタジアムは大いに盛り上がりました。サポーターの声援を受け、愛媛FCは前半、パスをつないで先制しましたが、すぐに1点を返され、後半、終了間際のロスタイムに決勝点を許し、惜敗しました。頑張れ愛媛FC！

▼ 5月27日  
危険な箇所をパトロール



町は、松山河川国道事務所、中予地方局、警察や消防などと、町内の危険箇所の点検パトロールを行いました。これは、災害時に町民に危険が及ばないように、それぞれの機関が対策を検討するため、毎年梅雨入り前に行っているものです。

参加者は、重信川、長尾谷川や義農遊水池などを巡回して、状況を確認し、管理者から水防区域などの説明を受けました。

▼ 5月23日  
水害に備えて 重信川河川敷で演習



水害に備えて関係機関の連携を確認しようと、国土交通省などが主催する重信川水防演習が、松山市井門町の重信川河川敷で開催され、行政、消防や住民ら約1,300人が参加しました。

実際の災害時を思わせる強い雨が降る中、町長は土のうづくりを、松前町消防団員は水防班として、堤防決壊対策の水防工法訓練に取り組み、関係機関との連携をさらに強化させました。